教えてネ 地域の話題

技術向上への一歩！ 肌で感じた力と技

高校生ラガーマンの技術向上をサポートしようと、秋田ノーザンブレッツR・F・Cが、「ラグビークリニック」を開催し、指導にあたっています。

この催しは、3月から4月にかけ5回に分けて行われ、県内全9校のラグビー部員がまさに、〝トップスポーツ〟の力と技を体感しています。

取材に訪れた4月2日は、秋田高校と男鹿工業高校のラグビー部員が対象で、タックルやパス回しなどについて、ノーザンブレッツ選手のアドバイスを受けていました。

1時間半に及ぶ練習の中で、すべての選手が一貫して伝えたのはベーシック(基礎的)な動きの大切さ。「良いプレーは基本ができてこそ」ということを何度も繰り返し教えていました。個別のレベルアップに必要なポイントや、チームとして日々の練習で心掛けることを学んだ部員たち。このクリニックをきっかけに各高校が今以上に切磋琢磨し、全体の技術が向上することを期待しましょう。

みずみずしぃ！ 鮮度抜群「雪中りんご」

掘り起こすこと1時間弱。真っ赤なりんごが顔を出しました！

秋に収穫したりんごを、翌年の春先に新鮮な状態で売り出すため、雄和の種沢果樹組合では、毎年、雪の中でりんごを保存する「雪中りんご」の作業を行っています。3月17日には、組合敷地の軒下に埋められた「ふじ」「王林」といった約7トン分のりんごを、組合員のみなさんが一斉に掘り出しました。

〝天然の冷蔵庫〟のおかげで水分が保たれ、みずみずしいことからとても人気があり、いつも販売後数日で売り切れるのだとか。きっと何よりも、「おいしく食べてもらいたい」という組合員のみなさんの思いを込めた一手間が、さらにりんごの甘みを引き出しているんですね！

仲間とつどい20年 学ぶ熱意冷めやらず

3月15日に行われた創立20周年記念式典で。この春からも、会員49人がともに学んでいます

60歳以上の男性を対象に、講話や軽スポーツ、音楽鑑賞など、生涯学習を中心とした活動を行っている「中央ナイスミドルカレッジ」が、この春、創立20周年を迎えました。

元々、退職後に豊かで魅力的な生き方をしてほしいと、平成8年に、当時の中央公民館が1年の予定で開設した講座でしたが、参加者の〝学ぶ熱意〟が冷めず、その後も継続されてきました。

3月15日に開かれた記念式典で会長の石田達郎さんは、「二十歳を迎えたばかりのまだまだ若い会ですが、今後も学習会を続け、希望と柔軟性のある会にしたい」とあいさつを述べ、会員のみなさんとともに、さらなるステップアップを誓いました。